

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和５年度第２回鶴ヶ島第一小学校学校運営協議会
日時	令和５年９月６日（水曜日） １０時４０分～１１時３０分
場所	鶴ヶ島第一小学校 校長室
出席委員	内野和江委員、竹島康史委員、町田尚司委員、古賀慎哉委員、藤瀬紀子委員、吉澤充委員（鶴ヶ島第一小学校長）
欠席委員	熊谷委員長、三上光江委員、串田功委員、西尾佑貴委員
事務局	豊田拓也教頭
議題	２学期初めまでの学校運営の成果と課題 (1) 令和５年度全国学力・学習状況調査の結果について (2) 令和５年度第一回学校評価の結果（教職員）について (3) 令和５年度鶴ヶ島第一小学校運営等に係る意見交換 (4) その他
配布資料	資料１ 令和５年度第２回学校運営協議会次第 資料２ 令和５年度第２回学校運営協議会資料 （令和５年度全国学力・学習状況調査の集計結果等を掲載） 資料３ 令和５年度運動会開催通知 資料４ 令和５年度第３回学校運営協議会開催通知 資料５ 令和５年度学校だより（７．８月分） 資料６ 令和５年度地域とともに歩む学校づくりセミナー開催通知
公開・非公開	公開
傍聴人数	０人
会議要旨	２学期が始まり、ここまでの学校運営の成果と課題や、子どもの姿について校長及び事務局から説明した。説明内容について、委員からご意見をいただき、よりよい学校運営に向けた協議を行った。

【議事概要】 ※会長が欠席のため、開会前に互選で町田委員を会長代理として選出した。

＜会長代理＞

日程第三、授業参観の様子を踏まえた意見及び感想について。

＜委員＞児童は夏休み終わりで少し落ち着きがない感じがした。一方で、教員は落ち着いて授業をしている印象であった。また、特別支援学級を参観した。児童はとても落ち着いていた。人と人のふれあいや、相手を思いやる心を大切にしてほしい。

＜委員＞学び合い学習が定着している一方、学年学級によって少し差があるように感じた。廊下の掲示物に教師のコメントがあってよかった。通知表の担任からのコメントもそうだが、児童の励みになる。また、教室のロッカーが整理整頓されていたり、下駄箱は、靴のかかところが揃っていたりして、気持ちよく教室や校舎に

入れた。

＜委員＞久しぶりに授業を参観し、本校児童が本当にかわいいと感じた。一方で髪の毛を染めていて派手な児童がおり、心配になった。何か学校で決まりや指導はあるのか。

＜校長＞小学校では、髪の毛の色については、特にきまり等はない。

＜委員＞6年生の習字が一人一人の個性があってよかった。2年生の体育の授業では、跳び箱を見て、体幹の弱さに不安を感じた。教師の指導がいかに気を使っているのかが分かった。全体的にどの学年もととても落ち着いて学習している様子が見られてよかった。

＜委員＞初めて授業参観をした。全体的に落ち着いていた。また、昔の学校と環境が全く違い、今の児童はとても楽しく学習できる環境だと思った。児童もととても楽しそうであった。

＜会長代理＞ここまでで、何か校長より補足説明等はあるか。

＜校長＞指導力向上のため、教職員が一丸となって研究授業に力を入れている。

＜事務局＞

配布資料2をもとに、主幹教諭が説明

【説明要旨】

＜令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について＞

- 総合的な集計結果（本校と埼玉県、全国）についての成果と課題
- 国語科においての問題別調査結果（本校と埼玉県、全国）についての特徴
- 算数科においての問題別調査結果（本校と埼玉県、全国）についての特徴
- 質問紙調査においての調査結果（本校と埼玉県、全国）についての特徴

＜委員＞数値を見て、数年前より学力が上がっていてすばらしい。本校教職員の努力のおかげだと思う。家庭学習はやっていないのか。

＜校長＞家庭学習の定義について、本校児童は宿題には取り組めており、自主学習との認識の違いがあるのではないかと考えている。

＜委員＞いじめについてはアンケートだけにとらわれず、引き続き全教職員で注意深く見守ってほしい。

＜事務局＞

配布資料2をもとに、教頭が説明

＜令和5年度第一回学校評価の結果（教職員）について＞

【説明要旨】

- 今年度より Google form を活用したオンライン回答
- 学びづくり【基礎学力の向上】
- 心づくり【規律ある態度の育成】
- 体づくり【健康・体力の向上】
- 保護者・地域との連携
- 組織運営

＜委員＞食育の項目で、やや課題があると回答している。給食の食べ残しは実際多

いのか。

<校長>回答結果のとおりであり、引き続き食の大切さについて指導していく。

<委員>家庭学習の習慣化についてはどのようにしていくのか。

<校長>家庭学習は課題である。宿題の定義も含め、全教職員で取り組んでいく。

<委員>オンラインにすることで、教職員の切実な声が反映されたと思う。研修の回数等について、課題があるという回答が多いが、自分を高めるためには必要だと思う。働き方改革と逆行するところもあるが、いかに自分にとって意味のある研修ができるかが大切なのではないか。

<委員>全体的に、やや課題あり（C評価）と回答した教職員が一定数いることがありがたい。C（やや課題あり）やD（課題あり）がない項目は逆に心配になるので、今後も完璧だとは思わないでほしい。また、働き方改革では、遅い時間でも、職員室の電気がついていることが多い。職員も家に帰れば親である。我が子を第一に考えて、働き方改革を進めてほしい。提案として、外遊びは、体力向上の項目だけではなく、人間関係にも関係するため、心づくりの項目に入れてもよいのではないか。

<委員>改善策も記載されていて、とてもよい。改めて組織運営の大変さを感じた。

<会長代理>ここまでで、何か校長より補足説明等はあるか。

<校長より>働き方改革の推進とともに、引き続き、児童の学力及び心身の健やかな成長を第一に考えて学校運営を進めていく。

<会長代理>

本日の協議における意見を今後の取組に活かして行ってほしい。

<会長代理>

本日の日程は以上である。